

月のことば (673)

近年、風呂敷が見直されてきた。あちらこちらで「風呂敷の包み方教室」が開かれている。風呂敷はカバンに比べて手軽、色柄はファッション性に富み、そして何よりエコであることが理由らしい。カバンでは運び辛い二本の酒瓶、西瓜など、相手を選ばず形通りしつかりと包み込む、その自在性と確実性で古くて新しい道具として見直されている。

まったく比較にもならないことだが、廣大無辺な阿弥陀如来の包容力。『無量寿経』に、「請われなくても慈悲をもって衆生をあわれみ、智恵の眼を授けて、彼岸へと導いてくださる。」とある。この如来からの「はたらき」は、花が虚空より降り注ぐようで、すべての人々が利益を豪こつむると称たたえられている。ありがたいことをいたただき、称讚しょうさんの日暮らしをしていきたい。

喜び 悲しみありても

み仏の慈悲につままれて

